

平成29年度事業報告書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

公益財団法人 日本防災協会

平成29年度事業報告書目次

I 協会の概要	1
1 会員の現況	1
2 理事会・評議員会の開催状況	1
3 評議員・役職員の状況	2
4 行事及び各種委員会	2
(1) 行事	2
(2) 各種委員会	3
II 事業	3
1 共通事項	3
(1) 事業全般	3
(2) 広報・普及業務	3
(3) 調査研究業務	4
(4) 部会活動	4
2 広報・普及業務	4
(1) 防災品の普及促進	4
(2) 消防関係機関等との協力・連携関係の強化	5
(3) 広報媒体による防災思想の一般消費者等への更なる周知	5
3 試験・技術業務	5
(1) 試験業務	5
(2) 技術業務	8
4 品質管理等業務	10
(1) 確認検査・審査の実施	10
(2) 品質管理の推進	11
(3) 防災品ラベル等の交付業務	12
5 防災技術等講習事業	14
(1) 防災加工専門技術者講習会の開催	14
(2) 防災加工専門技術者再講習会の開催	14
(3) 技術等研修会の開催	14

平成29年度事業報告書

I 協会の概要

1 会員の現況

平成29年度中における会員の異動状況は次表のとおりである。

表1 会員の異動状況 (単位：社、先)

区 分		入 会	退 会	29年度末
普 通 会 員	団 体			14
	法 人	7	7	346
賛 助 会 員				4
合 計		7	7	364

2 理事会・評議員会の開催状況

平成29年度における理事会・評議員会の開催状況は次のとおりである。

(1) 第25回理事会（平成29年6月1日）

決議（承認）事項

- ・平成28年度事業報告書（案）について
- ・平成28年度決算報告書（案）について
- ・特定費用準備資金等取扱規程（案）について
- ・役員等候補者に関する情報（案）について
- ・役員の賞与について（案）
- ・第13回評議員会（定時）の開催について（案）

報告事項

- ・平成29年度の業務執行状況について
- ・会員の異動について

(2) 第13回評議員会（平成29年6月20日）

決議（承認）事項

- ・評議員会議長の互選について
- ・平成28年度決算報告書（案）について
- ・役員等の選任について

報告事項

- ・平成28年度事業報告書について

(3) 第26回理事会（平成30年3月20日）

決議（承認）事項

- ・平成30年度事業計画書（案）について
- ・平成30年度収支予算（案）について
- ・理事及び監事並びに評議員の報酬等及び費用の支給基準等に関する規程の改正（案）について

- ・評議員等の報酬及び費用の支給に関する規程の改正（案）について
- ・第14回評議員会（臨時）の開催について

報告事項

- ・平成29年度職務執行状況・決算見込みについて
- ・会員の異動について

(4) 第14回評議員会（平成30年3月28日）

決議（承認）事項

- ・評議員会議長の互選について
- ・理事及び監事並びに評議員の報酬等及び費用の支給基準等に関する規程の改正（案）について
- ・評議員等の報酬及び費用の支給に関する規程の改正（案）について

報告事項

- ・平成29年度決算見込みについて
- ・平成30年度事業計画書について
- ・平成30年度収支予算について

3 評議員・役職員の状況

評議員・役員及び職員の状況は次表のとおりである。

表2 評議員・役員の状況（平成30年3月31日） (単位：人)

区分	常勤	非常勤	合計
評議員		21	21
理事	4	10	14
監事		2	2

表3 職員の状況（平成30年3月31日） (単位：人)

区分	常勤	非常勤	合計
職員	49	3	52

4 行事及び各種委員会

(1) 行事等

① 防災関係功労者表彰式の開催

ア 平成29年5月31日に、平成29年度の消防機器等関係者表彰式（（一社）全国消防機器協会会長表彰）が開催され、協会関係の功労者が表彰された。

イ 平成29年11月2日に、平成29年度の消防機器開発普及功労者表彰式（消防庁長官表彰）が開催され、協会関係の功労者が表彰された。

ウ 平成29年11月21日に、平成29年度の防災関係者表彰式（理事長表彰）を開催し、永年にわたり防災品の開発や普及に努め、防災関係の発展に多大な貢献をした功労者を表彰した。

協会関係の功労者表彰の状況は次表のとおりである。

表 4 平成 29 年度防災関係者表彰等の状況 (単位：人)

表 彰 の 種 類 等	表 彰 者 数
消防機器等関係者表彰（(一社)全国消防機器協会会長表彰）	7
消防機器開発普及功労者表彰（総務省 消防庁長官表彰）	4
防災関係者表彰（(公財)日本防災協会 理事長表彰）	21

② 消防関係専門紙（誌）に対する業務説明会の開催

平成 29 年 7 月 12 日に、消防関係専門紙（誌）に対する平成 29 年度の業務説明会を開催した。

③ 新年賀詞交歓会の開催

平成 30 年 1 月 12 日に、会員相互の親睦と行政機関・諸団体との意見交換を目的とした新年賀詞交歓会を開催した。

(2) 各種委員会

① 予防広報委員会の開催

平成 29 年 6 月 28 日に、火災予防対策の一環として、防災業務の役割及びその普及方法について協議するため、平成 29 年度の予防広報委員会を開催した。

② ISO/TC94/SC14 国内対策委員会（消防隊員用個人防護装備）の開催

ISO/TC94/SC14 国内対策委員会を 3 回開催し、消防隊員用個人防護装備の国際規格について日本の意見集約をした。

II 事業

1 共通事項

(1) 事業全般

防災品に係る防災性能確認等のための試験及び審査、防災品に係る防災表示ラベルの交付及び適正管理指導、防災品に係る品質管理検査及び確認並びに関連事業者への指導、防災技術向上のための専門技術者講習会の開催、防火・防災に関する広報及び防災講座の開催、国内外の防災関係機関との情報交流、資料収集及び防災に関する調査研究等の事業を実施した。

(2) 広報・普及業務

平成 29 年度においては、消防機関、防災ボランティア、住民防災組織、消費者団体、社会福祉団体、会員等と連携した防災品の普及の促進、住宅防火対策等の推進、広報誌「防災ニュース」・ホームページを通じた防災品の普及、地域における展示会や各種イベントへの参加を通じた防災品の普及促進に努めた。

(3) 調査研究業務

防災品の防災性能の確認及び品質管理業務の推進並びに防災品の普及促進等を図るため、防災規制、防災性能試験等の調査研究を実施し、調査結果をホームページ等で紹介するなど情報の提供に努めた。

(4) 部会活動

会員が中心となって防災品に係る諸課題を検討する場として部会（11部会）を設置しているが、各部会では、防災品の普及、使用方法、環境問題への対応、性能試験法等に関し、情報を交換し、防災品の改善に資することを目的として活動しており、平成29年度の開催状況は次表のとおりである。

表5 部会の開催状況

区 分	開 催 の 状 況
二次加工部会	平成29年 5月 22日
合板部会	平成29年 7月 4日
じゅうたん等部会	平成29年 9月 13日
カーテン等・整染合同部会	平成29年 9月 27日
布張家具等部会	平成29年 10月 13日
重布染色加工部会	平成29年 10月 24日
寝具等部会	平成29年 11月 6日
防災薬剤部会	平成29年 11月 6日
広告幕部会	平成30年 3月 6日
消防・防災用品部会	平成30年 3月 9日

2 広報・普及業務（公益目的事業・収益事業1）

(1) 防災品の普及促進

- ① 障がいを持つ児童の自立支援の一環として広島県内の特別支援学校（16校）に防災品を寄贈した。
- ② 防災の知識、技術等を普及するための防災講座を101回開催した。
- ③ 各種イベントに参加し、防災品の普及広報を推進した。
 - ア バリアフリー2017（平成29年4月20日～22日）
 - イ 第44回国際福祉機器展 H.C.R. 2017（平成29年9月27日～29日）
- ④ 出展を要請する消防署主催のイベントに参加するほか、希望する消防署には防災品や広報用資機材を貸与した。
- ⑤ 広報用としての住宅防火対策用資料映像を制作し YouTube「防災チャンネル」に掲載した。

(2) 消防関係機関等との協力・連携関係の強化

- ① 消防機関等が行う住民向け防災指導で活用する燃焼比較実験用資機材等を貸与した。
- ② 防災品普及広報ポスターを制作し、全国の市区町村・消防機関に15万枚配布した。
- ③ 住宅防火対策の一環として消防本部が主催する住宅防火対策事業に防災製品を2,196セット提供した。
- ④ 消防庁及び住宅防火対策推進協議会が主催し、全国9カ所で行った「平成29年度住宅防火防災推進シンポジウム」等に参加し、防災品の広報を実施した。
- ⑤ 消防機関、全国消防長会等が主催する各種会議に参加し、防災に関する情報の提供、意見の交換等を行った。
- ⑥ 高層用住宅向け防災物品普及促進のためのチラシを全国の政令都市等の消防本部に配付した。
- ⑦ (一社)全国消防機器協会社会貢献事業に参加し、全国20カ所の町会・自治会に500セットの防災製品を寄贈した。

(3) 広報媒体による防災思想の一般消費者等への更なる周知

- ① 広報誌「防災ニュース」を季刊発行し、消防本部から提供された防災品の奏効事例を継続的に掲載するなどして全国に情報提供した。
- ② ケーブルテレビ4局とFMラジオ1局で防災品の広報を実施した。
- ③ 動画投稿サイトYouTubeのなかに「防災チャンネル」を設け、多くの方が閲覧できるよう配信している。

3 試験・技術業務

(1) 試験業務

① 防災物品等の防災性能確認試験（公益目的事業）

登録表示者からの申請による防災性能を有することを確認するための試験を次表のとおり実施した。

表6 防災物品等の防災性能確認試験実施状況 (単位：件)

防災物品等の種類	29年度	28年度
カーテン	893	1,127
布製ブラインド	152	153
工事用シート	82	89
合板	7	11
じゅうたん等	888	849
防災薬剤	7	1
合計	2,029	2,230
前年度比(%)	91.0	—

(注) カーテンには、カーテンのほか暗幕、どん帳その他舞台において使用される幕を含む。

② 防災製品の防災性能確認試験（収益事業1）

防災製品の認定のため、防災性能を有することを確認するための試験を次表のとおり実施した。

表7 防災製品の防災性能確認試験実施状況（単位：件）

防災製品の種類		29年度	28年度
寝具類	側地類	24	41
	ふとん類	89	48
	毛布類	39	30
テント類	} 558	} 430	
シート類			
幕類			
非常持出袋	5	3	
防災頭巾等	3	12	
防災頭巾等側地	2	7	
防災頭巾等詰物類	2	5	
衣服類	材料	2	3
	完成品	1	9
布張家具等	14	21	
布張家具等側地	13	13	
自動車・オートバイ等のボディカバー	4	6	
ローパーティションパネル	12	22	
襖紙・障子紙等	4	1	
展示用パネル	28	44	
祭壇	0	0	
祭壇用白布	0	0	
マット類	11	12	
防護用ネット	19	15	
防火服	5	25	
防火服表地	2	4	
木製等ブラインド	3	5	
活動服	4	2	
災害用間仕切り等	7	4	
作業服	0	4	
合計	851	766	
前年度比（%）	111.1	—	

③ 防災物品等の品質管理等に係る試験依頼の受託（公益目的事業）

登録表示者の品質管理等のための防災性能試験を次表のとおり実施した。

表 8 防災物品等の品質管理等に係る試験依頼の受託実施状況（単位：件）

防災物品等の種類	29 年度	28 年度
カーテン	239	142
布製ブラインド	58	67
工事用シート	670	703
合板	34	4
じゅうたん等	594	441
防災薬剤	0	1
合 計	1,595	1,358
前 年 度 比 (%)	117.5	—

(注) カーテンには、カーテンのほか暗幕、どん帳その他舞台において使用される幕を含む。

④ 防災製品の品質管理等に係る試験依頼の受託（収益事業 1）

防災製品の品質管理等のための防災性能試験を次表のとおり実施した。

表 9 防災製品の品質管理等に係る試験依頼の受託実施状況（単位：件）

防災製品の種類		29 年度	28 年度
寝具類	側地類	2	55
	ふとん類	26	64
	毛布類	4	8
テント類	} 527	} 303	
シート類			
幕 類			
非常持出袋	3	1	
防災頭巾等	13	15	
防災頭巾等側地	0	2	
防災頭巾等詰物類	17	2	
衣服類	材料	1	1
	完成品	3	1
布張家具等	20	19	
布張家具等側地	7	9	
自動車・オートバイ等のボディカバー	0	2	
ローパーティションパネル	15	19	
襖紙・障子紙等	0	2	
展示用パネル	23	15	

祭壇	0	0
祭壇用白布	0	1
マット類	9	10
防護用ネット	13	14
防火服	8	8
防火服表地	0	0
木製等ブラインド	2	5
活動服	4	1
災害用間仕切り等	0	0
作業服	1	0
合 計	698	557
前 年 度 比 (%)	125.3	—

⑤ 防災品を取り巻く環境変化に応じ、試験実施体制の強化を図った。

ア 東京試験室と大阪試験室の連携を強化し、洗たく業務の応援体制、試験業務の平準化等により、納期短縮に努めた。(公益目的事業・収益事業1)

イ 防災薬剤性能試験について、試験布作成は依頼者が行うことを明確化すると共に、審査結果通知書、試験結果表に「浸漬加工及び放射圧力 0.5MPa 以上の噴霧器による緞帳・幕類加工用防災薬剤」と表記する改正を行った。(目的外使用の防止)

(公益目的事業・収益事業1)

(2) 技術業務

① 防災製品の開発及び防災性能基準の検討

ア 布張家具(防災製品)の普及を図るべく、張替用布張家具等側地の基準を改正し、布張家具等完成品側地の基準を制定した。(収益事業1)

イ 新しい ISO 基準に沿った消防庁のガイドラインが制定されたことに対応し、防火服(防災製品)に B-II N 型(消火活動用、新ガイドライン準拠型)及び防火服用高視認性素材の基準を制定すべく手続きを進めている。(収益事業1)

② 調査関係

ア カーテンの防災性能経年変化調査を 2 施設の協力のもと、平成 21 年度から 10 年計画で実施しているが、8 年経過後の評価を行った。大きな変化は見られなかった。

(公益目的事業)

イ 熱溶融性繊維に対する防災性能試験のコイル法について、4 試験機関でのラウンドロビン試験を実施し試験精度向上の方策を抽出した。今後、試験方法の適正化と統一を図っていく。(公益目的事業・収益事業1)

ウ 防災性能に係る耐洗濯性能の基準に関し、運用上の課題を抽出した。今後、消防庁が定める方法と同等以上の洗たく性能を有する方法の基準の検討を行う。

(公益目的事業・収益事業1)

③ 情報提供等

ア P O P s 条約での防災薬剤DBDEに関する規制の動向と今後の対応及び労働安全衛生法での三酸化ニアンチモンの規制内容について、関係部会において情報提供を行った。また、防災ニュース1月号で三酸化ニアンチモンの規制の内容について広報を行った。(公益目的事業・収益事業1)

④ ISO/ TC94/ SC14 (消防隊員用個人防護装備) の事務局として、国内対策委員会を6月、10月及び2月に開催したほか、国際会議(6月:ロンドン)の準備と報告を行った。また、2018年6月東京会議を招致し、準備を進めている。(収益事業1)

⑤ 防災物品等の新規登録、登録失効及び再登録の状況(公益目的事業)

防災物品等の新規登録、登録失効及び再登録の状況は次表のとおりである。

表10 防災物品等の新規登録、登録失効及び再登録の状況 (単位:件)

防災物品等の種類	新規登録 件数	登録失効 件数	29年度末有効登録件数		28年度末有効 登録件数
				再登録件数	
カーテン	770	499	6,781	1,620	6,510
布製ブラインド	125	151	1,415	372	1,441
工事用シート	71	56	681	189	666
合板	6	4	144	56	142
じゅうたん等	745	564	7,193	1,930	7,012
防災薬剤	5	5	52	24	52
合計	1,722	1,279	16,266	4,191	15,823
前年度比(%)	95.5	81.7	102.8	112.8	—

(注) カーテンには、カーテンのほか暗幕、どん帳その他舞台において使用される幕を含む。

⑥ 防災製品の新規認定、認定失効及び認定更新の状況(収益事業1)

防災製品の新規認定、認定失効及び認定更新の状況は次表のとおりである。

表11 防災製品の新規認定、認定失効及び認定更新の状況 (単位:件)

防災製品の種類		新規認定 件数	認定失効 件数	29年度末有効認定件数		28年度末有 効認定件数
					認定更新件数	
寝具類	側地類	12	2	76	4	66
	ふとん類	47	8	292	15	253
	毛布類	28	12	172	23	156
テント類	}	462	}	}	185	}
シート類						
幕類						
非常持出袋		5	13	52	5	60
防災頭巾等		3	9	78	7	84

防災頭巾等側地	1	3	35	3	37
防災頭巾等詰物類	1	1	18	0	18
衣服類	3	6	50	7	53
布張家具等	8	30	113	5	135
布張家具等側地	10	4	109	4	103
自動車・オーバイ等の ボディカバー	4	0	21	0	17
ローパーティションパネル	8	6	116	21	114
襖紙・障子紙等	3	0	20	0	17
展示用パネル	14	10	109	7	105
祭壇	0	0	5	0	5
祭壇用白布	0	0	8	4	8
マット類	7	1	30	1	24
防護用ネット	9	5	144	8	140
防火服	4	4	37	4	37
防火服表地	1	0	12	1	11
木製等ブラインド	4	4	33	4	33
活動服	2	0	13	0	11
災害用間仕切り等	2	0	17	2	15
作業服	0	0	11	5	11
合 計	638	314	4,575	315	4,251
前年度比(%)	126.6	65.8	107.6	65.2	—

4 品質管理等業務

(1) 確認検査・審査の実施（公益目的事業）

登録確認機関として確認業務における品質管理に関し実施した確認検査・審査件数は次表のとおりであり、全件について標準処理期間内で審査完了した。

表 12 品質管理に関する確認検査・審査の状況

(単位：件)

区 分	29年度件数	29年度末登録件数	28年度件数
製造業	23	573	36
防災処理業	16	875	11
輸入販売業	35	841	38
裁断・施工・縫製業	280	31,586	290
合 計	354	33,875	375
前年度比(%)	94.4	—	—

(2) 品質管理の推進

- ① 防災事業者による品質管理状況の点検強化の推進（公益目的事業・収益事業1）
 自社における品質管理の適正化のための点検の実施及び品質改善の指導を推進した。
- ② 抜取・試買の実施
 ア 「防災ラベル等取扱い及び品質管理に関する規程」に基づき、次表のとおり防災物品の抜取や市販品の試買を行い、防災性能確認試験を実施するとともに、不適合発生事業者に対して「防災物品に係る不適合等に対する措置に関する規程」による品質改善指導を推進した。（公益目的事業）

表 13 防災物品の抜取・試買（試験）の実施状況（単位：件）

防災物品の種類	29 年度件数			28 年度件数
	抜取試験件数	試買試験件数	合計件数	
カーテン	336	130	466	469
布製ブラインド	17	1	18	20
工事用シート	26	2	28	23
合板	16	29	45	48
じゅうたん等	18	2	20	30
合計	413	164	577	590
前年度比 (%)	—	—	97.8	—

- イ 「防災製品ラベル取扱い及び品質管理に関する規程」に基づき、次表のとおり防災製品の抜取や市販品の試買を行い、防災性能確認試験を実施するとともに、不適合発生事業者に対して品質改善指導を推進した。（収益事業1）

表 14 防災製品の抜取・試買（試験）の実施状況（単位：件）

防災製品の種類		29 年度実施件数			28 年度 実施件数
		抜取試験件数	試買試験件数	合計件数	
寝具類	敷布・カバー類	1	0	1	0
	敷きふとん・座布団	0	0	0	1
	枕	0	0	0	0
	毛布	7	0	7	6
幕類	屋外用	91	2	93	92
	屋内用	5	0	5	2
非常持出袋		1	0	1	2
防災頭巾等		2	0	2	4
衣服類		1	0	1	1
布張家具等側地		2	0	2	1

自動車・オートバイ等のボディカバー	0	1	1	0
展示用パネル	3	0	3	3
祭壇用白布	1	0	1	1
マット類	1	0	1	1
防護用ネット	1	0	1	0
木製等ブラインド	1	0	1	0
合 計	117	3	120	114
前年度比(%)	—	—	105.3	—

③ 定期・随時調査の実施

ア 登録表示者に対する定期・随時調査の実施状況は次表のとおりである。(公益目的事業)

表 15 登録表示者に対する定期・随時調査の実施状況 (単位：件)

区 分	製造業・防災処理業	輸入販売業	合 計
29年度実施件数	42	15	57
28年度実施件数	30	5	35

なお、随時調査については、主に不適合多発業者等への品質管理改善を重点指導し、再発防止を促進した。

イ 防災製品認定事業所に対する定期・随時調査の実施状況は次表のとおりである。(収益事業1)

表 16 認定事業所に対する定期・随時調査の実施状況 (単位：件)

区 分	認定事業所	合 計
29年度実施件数	55	55
28年度実施件数	37	37

(3) 防災品ラベル等の交付業務

防災品ラベル等の交付に当たり、その発行を適正に、かつ効率的に行った。

ア 防災物品ラベル等の交付状況は次表のとおりである。(公益目的事業)

表 17 防災物品ラベル等の交付状況 (単位：千枚)

防災物品等の種類	29年度交付枚数	28年度交付枚数
カーテン	8,382	8,521
布製ブラインド	1,361	1,406
工事用シート	7,936	8,103
合板	1,147	1,138
じゅうたん等	1,693	1,642

防災薬剤	1	1
合計	20,520	20,811
前年度比(%)	98.6	—

(注) カーテンには、カーテンのほか暗幕、どん帳その他舞台において使用される幕を含む。

イ 防災カーテンのトレーサビリティ確保のため、防災カーテンの製造事業者等に照会番号を記載した補助ラベルを 20,290 千枚支給した。(公益目的事業)

ウ 防災製品ラベルの交付状況は次表のとおりである。(収益事業1)

表 18 防災製品ラベルの交付状況 (単位：千枚)

防災製品の種類	29年度交付枚数	28年度交付枚数
寝具類	1,152	1,478
テント類	} 8,686	} 9,380
シート類		
幕類		
非常持出袋	109	183
防災頭巾等	} 613	} 597
防災頭巾等側地		
防災頭巾等詰物類		
衣服類	29	16
布張家具等	} 17	} 31
布張家具等側地		
自転車・オートバイ等の ボディカバー	55	57
ローパーティションパネル	1	1
襖紙・障子紙等	0	1
展示用パネル	13	6
祭壇	} 46	} 49
祭壇用白布		
マット類		
防護用ネット	167	175
防火服	} 24	} 20
防火服表地		
木製等ブラインド	21	19
活動服	18	22
災害用間仕切り等	0	1
作業服	14	0

上記の材料	120	96
合 計	11,085	12,133
前年度比(%)	91.4	—

(注) 千枚未満を四捨五入しているため、合計と合わない場合がある。

5 防災技術等講習事業

(1) 防災加工専門技術者講習会の開催（収益事業2）

防災加工専門技術者に必要な知識及び技能を習得するための講習会を「防災加工専門技術者講習会規程」に基づき実施した。

防災加工専門技術者講習会の受講状況は次表のとおりである。

表 19 防災加工専門技術者講習会の受講等状況 (単位：人)

区 分	29 年度	29 年度末累計	28 年度
受講者数	125	8,302	78
合格者数	110	6,753	75
合格率(%)	88.0	81.3	96.2

(2) 防災加工専門技術者再講習会の開催（収益事業2）

「防災加工専門技術者講習会規程」に基づき、講習修了証等の交付を受けた者が防災に関する知識及び技能の更新に対応できるようにするため、修了証等取得後5年に1回以上受講する再講習会を実施し、合計166名（28年度185名）が受講した。

(3) 技術等研修会の開催（公益目的事業）

・登録表示者等を対象に東京試験室及び大阪試験室において、各々2回の防災性能試験実地研修会を実施し合計30名（28年度16名）が受講した。

・裁断・施工・縫製業者に対する防災ラベルの表示・管理に関する講習会について、4団体主催及び協会単独で合計162会場、総出席者4,610名が受講した。